

(学会) 旅行記

第 16 期 OB 北澤 涼平

今年、大学院の修士課程生として、学会発表（の名目で、観光）に行かせていただく機会が 2 回ありました。（しかも、大学から出張費を頂いているので無料で！ というか黒字で！）5 月には、日本商業学会の全国研究大会で沖縄に出張しました。小野先生、現役大学院生の王さん（博士課程 2 年）、さらには第 9 期大学院生で、現鳥取大学地域学部准教授の白石秀壽先生とともに、観光も楽しみながら、真面目に学会発表もして、実り豊かな時間を過ごすことができました。学会発表では、沖縄国際大学にて、自身の研究を発表し、たくさんの研究者の方からご指導を頂くことができました（左下の写真を参照のこと）。観光では、沖縄料理と泡盛を現地の料理店にて堪能したのちに、白石先生におねだりをして、別のお店でステーキを注文したにもかかわらず、途中で腹がパンパンになり、ステーキを半分残したこともいい思い出です。

また、11 月には、小野先生ご夫妻とともに、ベトナムのホーチミン市に出張しました。学会初日の午前中に発表をし、他の学者の方から好感触を得ることができました。その後は、ベトナムの最高級料理に舌鼓を打ったり、ベトナム戦争の博物館に行ったりなどして、ベトナム観光を楽しみました。最終日のメコン川クルーズツアーは、圧巻でした。映画ランボーに出てくるようなジャングルを小舟に乗って探検するという非日常的経験をすることで、良いリフレッシュとなりました。また、このツアーでは、ベトナムの現地の食材を使った豪勢な料理も頂きました（右下の写真を参照のこと）。このエッセイを読んでいる学部生の諸君や、すでに社会人として働いている OB・OG の皆様、大学院に行くこんな楽しい体験をできるので、是非商学研究科の門をたたいてみてはいかがでしょうか。苦しいこともあるかもしれませんが、結構楽しいですよ。（もちろん、研究第一ではありますが）



左から、第 18 期大学院生王さん、小野先生、著者



ベトナムの魚の大きさに驚く著者（撮影は小野先生）